

技術評価証

【技術名称】

「靱性の向上を目的とした高強度鉄筋による柱および杭の設計施工法」

【依頼者】

高周波熱錬株式会社
JFEテクノワイヤ株式会社
株式会社ジェイアール総研エンジニアリング

【有効期間】

下記発行日から5年間

【技術評価】

技術評価委員会は、評価を依頼された「靱性の向上を目的とした高強度鉄筋による柱および杭の設計施工法」の評価対象項目について厳正かつ慎重に審議を行い、以下のとおり評価した。

1.せん断耐力評価式

せん断補強鉄筋が受け持つ耐力を、せん断補強鉄筋比、コンクリート強度およびせん断スパン比の影響を考慮して定めた補正係数で修正することにより、せん断耐力評価式は、高強度のせん断補強鉄筋を用いた場合の実験値を安全側に評価できることを、既往の高強度鉄筋を用いた実験の分析および大型の載荷試験結果から確認した。また、実験結果の分析から曲げ破壊型の部材は十分な靱性を有することを確認した。

2.高強度せん断補強鉄筋を用いた柱および杭の設計施工指針

設計降伏強度1275N/mm²のせん断補強鉄筋を鉄筋コンクリート土木構造物の柱および杭に使用する場合に適用する「高強度せん断補強鉄筋を用いた柱および杭の設計施工指針」について、この指針は適切な内容であり、設計計算および施工をこの指針に基づいて実施しても問題がないことを確認した。

本設計施工指針を適用する場合の留意事項

- ・この指針を適用してコンクリート部材のせん断耐力を求める場合には、指針に示された性能を持ち、十分に品質管理された工場で作られた高強度鉄筋を使用しなければならない。これ以外の高強度鉄筋を使用する場合には、別途試験を実施する等、その性能を確認して使用しなければならない。
- ・この指針に示していない事項については、土木学会「コンクリート標準示方書」による必要がある。

平成21年7月17日

以上



社団法人

土木学会

会長 近藤

